

CONTENTS

● 安全や環境などの規制に関連する電子楽器の表示について	1~4
● MIDI検定試験実施報告	5
● 著作権・ソフト委員会 早稲田大学講座理工学術院AMEI連携講座	6~9
● AMEI会員名簿・令和4年度MIDI検定告知	10

安全や環境などの規制に関連する 電子楽器の表示について

電子楽器の本体・包装・取扱説明書などには様々な表示がされていますが、それらの表示の中には製品安全環境委員会が対象にしている安全・EMC・環境などに関連しているものが多数あります。今回は機器や包装に表示されるマークについて紹介してみたいと思います。

各種の規制に適合していることを示すため、また製品の性能レベルの表示や間違っただけの使用をしないような警告など、製品、包装、取説などに様々な表示がされます。表示には必須のものも任意のものも有ります。

例えば電子楽器の本体や付属する AC アダプタの銘板にはいろいろな安全認証マークが表示されていますが、皆さんどれくらいご存じでしょうか？

今回は、それらのマークについていくつか紹介してみたいと思います。

●安全のマーク

安全規制は、主に電気エネルギーや機械エネルギーによる痛みや傷害、及び火災による物損の可能性を低減することを目的とします。近年は子供に対する保護が重要視され、例えばボタン電池の誤飲対策は各国で規制化の動きがあります。機器に表示されるマークは安全規格への適合を示すだけでなく、環境・EMC・無線規制への適合表示を兼ねているものも有ります。

安全認証のマークの表示は、以前は先進国に限られていましたが、近年発展途上国で次々と増えてきています。マークには最小サイズの規定のあるものもあるので縮小表示するにも限りがあり、ACアダプタなどは限られた銘板のサイズに増加するマークを配置するのが難しくなりつつあります。

国・地域	マーク名	マーク	説明
日本	PSE		危険レベルにより、ひし形と丸型があります。EMC と共用のマークです。
EU	CE		EMC・無線・環境と共用のマークです。(最低高さ 5 mm)
英国 (グレートブリテン)	UKCA		英国の EU 離脱に伴い、CE から分かれました。
ドイツ	GS		ドイツ規格への適合を示す任意の認証マークです。

製品安全・環境委員会報告

国・地域	マーク名	マーク	説明
北米 (米国 / カナダ)	UL		米国とカナダは共通規格になりました。UL・CSA・MET 等の認証機関のマークを表示します。マーク両側の C-US は両国で販売可能であることを示します。
	CSA		
	MET		
メキシコ	NOM		メキシコ規格への適合を示すマークです。
豪州	RCM		EMC・無線と共用のマークです。
中国	CCC		EMC と共用のマークです。
	海拔高度		標高 2000m 以上の場所で使用禁止の機器に表示します。
	気候条件		熱帯気候条件下で使用禁止の機器に表示します。
韓国	KC		EMC や無線と共用のマークです。
台湾	BSMI		台湾 RoHS と共用のマークです。
シンガポール	Enterprise		電子楽器関連では AC アダプタが対象です。
EAEU (ロシア等)	EAC		EMC・EAEU RoHS と共用のマークです。
アルゼンチン	S		認証した機関のマークと共に表示します。
インド	BIS		対象規格・認可番号・BIS の WEB サイトアドレスと共に表示します。
湾岸諸国	GCC		EMC と共用のマークです。
モロッコ	CMIM		EMC と共用のマークです。
モンゴル	安全マーク		WTO TBT で案が公表されています。
各国	二重絶縁		二重絶縁機器であることを示すマークです。

●環境のマーク（安全で紹介したマークは省略します）

環境規制は、人体や自然環境を守るための規制です。製品含有化学物質、木材からのホルムアルデヒド放散、製品の待機電力や外部電源のエネルギー効率、製品や容器包装のリサイクルなど各種の規制があります。環境関連の表示はリサイクルマークが多いですが、そのほかにも AC アダプタの国際的効率マーキングプロトコルに従ったエネルギー効率レベルマークなどもあります。

最近フランスでトリマンマークというリサイクルマークが追加され、イタリアでもリサイクル表示が追加される動きが有り、リサイクルの表示は今後ますます増えてくることが予想されます。

EU RoHS 指令への適合は安全で紹介した CE マーク表示のための要件の一つになっています。

国・地域	名称	マーク	説明
日本	紙		紙のリサイクルマーク
日本	プラ		プラスチックのリサイクルマーク
国際	ダンボール		ダンボールの国際リサイクルシンボルです。
欧州	分別回収マーク		処分の際に埋め立てず、リサイクルを求めるマークです。
各国	リサイクル		素材により数字が変わります。
韓国	分離排出		素材により文字が変わります。
フランス	トリマン		リサイクル対象製品に表示します。
欧州 / 北米等	エネルギー効率		AC アダプタのエネルギー効率レベルをローマ数字で表示します。
中国	環境保護使用期限		中の数字は有害物質を含んでいる製品が安全に使用できる年数を示します。

●EMC のマーク（安全で紹介したマークは省略します）

EMC（電磁両立性）規制は、電子機器からの電磁波が他の機器の動作を障害したり人体に影響を与えたりしないこと、および他の機器などから発生する電磁波などにより機器の動作が障害されないことを目的とします。

EMC の適合表示は安全認証の適合マークが兼ねているものが多く、EMC 単独のマークはあまりありません。米国の FCC マークは以前は IT 機器には表示が必須だったのですが、規制が改正され、現在は任意の表示になっています。

国・地域	名称	マーク	説明
米国	FCC		FCC 規格適合を示します。表示は任意です。

●無線のマーク（安全で紹介したマークは省略します）

Wi-Fi や Bluetooth 等の無線機能を持つ製品は、多くの国で電波法に基づく認可が必要になります。同じ無線モジュールを複数のモデルで使う場合は、モジュールとしての認可を取れば済む国とモデルごとに認可が必要な国があります。マークではなく、文字で認可番号を表示するだけの国も多いです。

モジュール認可の国が突然モデル認可しか認めなくなることもあり、表記要件がよく変更されるので、注意が必要です。

国・地域	名称	マーク	説明
日本	技適		認可モジュールを内蔵する製品への表示は任意です。
台湾	NCC		台湾の無線認可マークです。
マレーシア	MCMC		モデルごとの認可が必要です。
ブラジル	ANATEL		取扱説明書に表示する場合があります。
アルゼンチン	RAMATEL		モジュール認可が可能です。
南アフリカ	ICASA		モジュール認可が可能です。

●その他のマーク

製品安全・環境委員会の範囲ではありませんが、電子楽器の内蔵曲の著作権表示として JASRAC マークが表示されることがあります。また、包装には取り扱いの注意を促すケアマークなども表示されます。

●ビンテージ問題

余談ですが、電安法では中古品の電子楽器は PSE マーク又は電取法のマークが無ければ販売出来ないのですが、電安法施行時に問題が発生しました。電取法では電子楽器は乙種電気用品に分類されていたのですが、1995 年から乙種電気用品にはマークを表示しないことになりました。電安法施行後も乙種電気用品のマークがある物はそのまま販売出来るのですが、1995 年以降に販売された電子楽器は中古品として流通できないと当時話題になりました。この問題を解決するため、マークの無い電子楽器をビンテージ楽器として登録すれば、中古品の販売業者が自主検査（絶縁耐力検査・通電検査・外観検査）をすれば PSE マークを表示して販売出来る特別承認制度が出来ました。

小さなマーク一つでも表示の有り無しで大きな問題になります。

●まとめ

思いつくままに紹介してみましたが、皆さんどれくらいのマークをご存じだったでしょうか？

まだまだ全ての国を網羅したわけではありませんし、マーク以外に文字での表示要求もたくさんあります。また、規格によっては取説や WEB サイトへの表示も必要になります。

表示は様々な国の様々な規制の把握と対応の集大成と言えますが、一旦対応しても、新たな規制が出来たり、改定されたりするので常に見直しが必要です。膨大な情報の中から必要なものを取捨選択し対応するのは、自社の限られたマンパワーだけでは困難です。

寄稿にあたり、AMEI の各部会での情報共有に助けられていることを改めて実感した次第です。

製品安全・環境委員会 金原 正人 副委員長

MIDI 検定試験実施結果報告

MIDI 検定指導研究委員会 上杉 尚史

令和3年度のMIDI検定はコロナ対応に追われた一年となりましたが、全ての局面においてオンラインと非接触を確立できた年とも言えます。昨年度は2級、3級筆記試験の一般受験を中止し、専門学校等で実施される団体受験のみを行いました。2級2次試験に関してはオンラインによる試験を実験的に導入したのですが、2級2次試験の受験希望者が少なかったこともあり大きなトラブルにはなりませんでした。

今年度開始当初はこれまでのように普通に試験ができる事を想像していたのですが、コロナの影響が落ち着くにはまだ時間がかかる点と、試験会場の集約により地方在住者が受験できないといった既存の問題点を再度検討した結果、MIDI検定試験のオンライン化についてもう一步進めてみようという結論に至りました。まずは毎年5月、7月、9月に実施している4級、3級、2級指導者講習会のオンライン化です。これまで東京と大阪の2会場で計6回(4級、3級に関しては1日同じ内容を2回開催)開催していたのですが、これをオンラインミーティング形式に変更しました。これにより会場キャパの問題で複数回に分けていた受講者を1度に集約できるほか、受講者が自宅で受講できるために受講者の利便性も向上しました。運営側としても会場費や講師料の削減など様々な利点が生れます。また、この指導者講習会を通じて、12月に実施される筆記試験のオンライン化に向けた告知なども行うことができました。さらに、4級指導者講習会については通常開催以外にスポットでの開講(オンライン)も実現できました。これについては、ご自身もMIDI検定指導者としてご活躍されているリュウケイミュージックネットの山口隆啓

様のご尽力により実現いたしました。こちらのスポット開催では九州地区からのご参加もあり、東京と大阪のみで開催していた時代には参加が難しい方にもご受講いただけました。

8月には例年通り1級試験も開始いたしましたが、こちらは以前から会場に人を集めるような試験では無かったため大幅な変更はありません。一部変更点としては、課題データをCD-ROMに書き込んで提出する規定をクラウドサーバーへの提出に変更しました。これにより、事務処理の工数やフレキシブルな対応が可能となりました。

さらに12月には2級2次試験をオンラインと団体受験(専門学校等)のハイブリッド形式で実施し、受験者も回復傾向になっております。団体受験に関しては従来通りの冊子問題を解いていただく形式ですが、オンライン試験では試験直前にダウンロードしたパスワード付問題を使用し、試験開始と同時にウェビナー上でパスワードを公開。答案用紙は事前に配布した紙ものに記載していただき、試験終了と同時に解答用紙の写真を撮影してサーバーにアップロードしていただくという形式を取っています。もちろんカンニングなどの対策も大きな問題となります。これについては、ガイドブックを参照しても良いという異例の形式を取ると共に問題文の出題形式を刷新し、シチュエーションをしっかりと把握していないと解答が導き出せない内容としました。結果として合格率が若干減りましたが、許容範囲の減少率となっています。

まだまだ改善点はあるとはいえ、大がかりなシステム開発を行わずに新たな試験方法を運用できたことは今後のMIDI検定事業にとって大きな一歩になったのではないのでしょうか。



MIDI LICENSE 令和3年度
「MIDI検定」
 第13回MIDI検定1級試験
 【試験期間】2021・8/6(金)～8/16(月)
 申し込み 2021・7/1(木)～7/30(金)
 ▶▶ 令和3年度 MIDI検定試験
 MIDI検定とは、音楽の基礎知識を身に付け、作曲や録音の技術を習得し、音楽制作の現場で活躍するための検定試験です。
 第24回3級
 第23回2級1次(筆記)
 試験日 令和3年12月5日(日) 全国一斉
 3級試験 18時30分～2時30分
 2級1次(筆記)試験 4時～5時30分
 申し込み 令和3年9月15日(水)～10月31日(日)
 一般受験案内
 オンライン試験

MIDI LICENSE
 令和3年度 MIDI検定試験
 受験案内
 第23回 MIDI検定2級2次試験
 筆記試験: 令和4年2月19日(土)オンラインにて筆記試験+制作課題
 課題制作: 令和4年2月20日(日)～21日(月) 提出2月21日(月)
 申し込み 2021・12/10(金)～2022・1/21(金)

MIDI検定試験結果の推移(国内)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	累計
3級	実施日	第17回 2014 12/7	第18回 2015 12/6	第19回 2016 12/4	第20回 2017 12/3	第21回 2018 12/2	第22回 2019 12/2	第23回 2020 12/6	第24回 2021 12/5	
	受験者数	526	493	512	470	525	472	242	317	26951
	(内学校)	326	301	242	229	295	259	242	179	13736
	合格者数	271	308	378	297	276	303	142	123	18118
	合格率	51.52%	62.47%	73.83%	63.19%	52.57%	64.19%	58.68%	38.80%	67.23%
2級1次	実施日	第16回 2014 12/7	第17回 2015 12/6	第18回 2016 12/4	第19回 2017 12/3	第20回 2018 12/2	第21回 2019 12/1	第22回 2020 12/6	第23回 2021 12/5	
	受験者数	117	143	139	182	138	118	18	103	6373
	合格者数	73	91	67	139	96	73	12	44	3217
	合格率	62.39%	63.64%	48.20%	76.37%	69.57%	61.86%	66.67%	42.72%	50.48%
2級2次	実施日	第16回 2015 2/21～23	第17回 2016 2/20～22	第18回 2017 2/18～20	第19回 2018 2/24～26	第20回 2019 2/16～18	第21回 2020 2/15～17	第22回 2021 2/20～22	第23回 2022 2/19～21	
	受験者数	78	92	65	88	71	52	24	45	3687
	合格者数	33	62	39	47	43	30	15	27	1441
	合格率	42.31%	67.39%	60.00%	53.41%	60.56%	57.69%	62.50%	60.00%	39.08%
1級	実施日	第6回 2014 8/8～18	第7回 2015 8/7～17	第8回 2016 8/12～22	第9回 2017 8/11～21	第10回 2018 8/10～20	第11回 2019 8/9～19	第12回 2020 8/7～17	第13回 2021 8/6～16	
	受験者数	27	34	43	32	40	33	31	23	626
	合格者数	14	10	17	9	26	16	6	9	206
	合格率	51.85%	29.41%	39.53%	28.13%	65.00%	48.48%	19.35%	39.13%	32.91%
国内受験者合計		748	762	759	772	774	675	315	488	37637

早稲田大学連携講座での活動

著作権・ソフト委員会
副委員長 堀江 康明

1. はじめに

2008年から、著作権・ソフト委員会と早稲田大学理工学術院とで実施している連携講座「国際コンテンツビジネスと著作権」ですが、2021年度も15回の講義を実施しました。著作権の基礎知識やコンテンツビジネスの市場動向の解説をし、音楽サービスの適法利用を促したり、エンターテインメントコンテンツとその周辺ビジネスを紹介したり、AMEIについて理解を広げる活動をしています。2021年度も99名の学生が受講し、連携メリットとして2つの取り組みを実施しました。

2. 講義アンケートについて

2021年度の講義は、2020年度に引き続き、全面的に録画したオンライン動画で行いました。この形式は、通常の対面授業と違って、講義内容への理解状況の可視化が難しいという問題点があります。そこで何度かWebアンケートや小テストを行うことで、この状況の解決に努めます。今年度も昨年度同様のWebアンケートを実施しました。

課題

一般社団法人音楽電子事業協会（AMEI）のHPを見て、
会員にどんな企業がいるかを調べなさい。
その会員企業の会社概要や事業内容を参照して、
AMEI自体もしくは興味をもった1社について、興味を持った点を答えなさい。

受講者の目を通じて、各社のホームページのどんなことに興味をもったか、特に就職活動をする学生の関心事項がよく分かる内容となっていました。少し読みやすくコメントを整理しましたので、ご紹介させていただきます。

会社名・団体名 ※アルファベット・50音順
コメント内容
○ AlphaTheta 株式会社
・DJをサポートする機材やアプリを制作している活動に興味を持ちました。
○ AMEI
<ul style="list-style-type: none"> ・音楽に関する知的財産権を今の時代に適応させる研究を行う点が興味深いです。 ・楽器関連機器の安全性確保と環境問題について検討している点に興味があります。 ・MIDI規格によって音楽業界へ入るまでのハードルは低くなり、音楽シーンの発展に大きく貢献していることに感心しました。 ・MIDI規格は廃れていくと考えていましたが、新しい規格を考案したのは驚きです。 ・AMEIは「電気用品調査委員会の電波雑音部会」に参加しています。イヤホンの雑音が気になる人が多いので、使用者のニーズを考えていると感じます。
○ Apple Japan 合同会社
・最も印象に残るホームページでした。
○株式会社 nana music
・セッション操作のわかりやすさやSNS機能など、戸惑うことなく創造・拡散することができる感じが良かったです。

○ universe 株式会社

- ・ 大部分の企業の最重要業務ともいえる活動を手助けする事業を展開しています。多方面の業種への知見と幅広い法律の知識が必要であると感じました。

○株式会社インターネット

- ・ インターネットという社名が気になりました。先見の明があると思いました。
- ・ 音楽作成ソフトを利用した ICT 活用を支援しています。専門知識なしでも曲創りを始められることは多くの人の支持を得られると思います。
- ・ たくさんのキャラクターのボーカロイドが特に興味深かったです。
- ・ AI による読み上げは抑揚などもあって実際の人間の声に近く、将来的にはナレーションの仕事は AI に置き換わるのではないかと感じました。

○株式会社エクシング

- ・ おうち時間が増え、自分の趣味に没頭する時間が増えたので、外に出ず趣味に浸ることができるスマートフォンアプリは生活の充実につながります。
- ・ 昨年 7 月下旬にパーソナル空間向け小型空気清浄機を発売しています。物事を見る観点が大変評価できると感じました。
- ・ 目立たないですがカラオケボックスに置かれているたくさんの物を製造しています。

○カシオ計算機株式会社

- ・ 最近の楽器事業では、コロナ禍による「新しくピアノ演奏を弾きたい」、「以前弾いていたがまた弾いてみたい」という潜在需要を掘り起こすことに取り組んでいます。
- ・ 時計。電卓や電子辞書のイメージがありますが、電子機器の開発技術を活かした電子楽器の製品を展開していることを知りました。
- ・ ホームページにカシオの歴史というページがあり、そこには複数の世界初という表記があり、これまでにない製品を世に出してきたことが見て取れました。
- ・ 「創造 貢献」という経営理念をモットーに、製品やサービスの提供を通じて、様々な側面から社会に貢献したいと考えている点に興味があります。

○クリプトン・フューチャー・メディア株式会社

- ・ キャラクター事業に興味を持った。「piapro」というプラットフォームを提供することで、創作活動の活発化を目指している。
- ・ 音楽に合わせた 3DCG キャラクターのリアルタイム操作が MIDI によって実現されていることを知り、MIDI について学んでみたいと感じた。
- ・ 音楽制作に使う楽器音源や、20 万種以上の効果音と 1 万曲以上の BGM を配信しているなど、音源制作に力を入れている会社だと分かりました。
- ・ 「AI がその時の感情に合わせてプレイリストを創る」や「AI があなたの気分に合わせて創作した曲で癒してくれる」というテクノロジーに興味を持ちました。

○クリムゾンテクノロジー株式会社

- ・ brAinMelody の脳波計測による AI 自動作曲技術に興味を持ちました。
- ・ 「リアチェン voice」のリアルタイム変換技術に興味を持ちました。
- ・ 音声のリアルタイム変換は今後訪れるメタバース社会で重要になると思います。

○株式会社シーミュージック

- ・ Line などのスタンプの製作に興味を持ちました。着信音など短いながらも耳に残る音楽コンテンツのノウハウがスタンプの音源などに利用されていると感じました。
- ・ レンタル事業を行っているスタジオを SNS 等で見たことがあります。

○株式会社シンクパワー

- ・ 289 万曲もの歌詞データがあるということに驚きました。
- ・ 会社概要の社長挨拶の中で、「メジャー曲のみならず、メジャーデビュー前のアーティストの曲をも含めて、歌詞の持つパワー、そしてメッセージを伝える仕組みを構築する」と述べられていたことがとても魅力的に感じました。

○株式会社ズーム

- ・ホームページを見るといろいろな音楽用機器がありました。レコーダーなどは Web 会議のシステムにも使えそうです。
- ・興味を持ったのは専門性の高さ、種類の豊富さ、商品の機能性の高さです。特に商品の機能性の高さに関して、ユーザーからは非常に高い評価を受けています。

○株式会社ストーンシステム

- ・絵文字を使ったワнтаイムパスワードシステムに興味を持ちました。全年齢のユーザーがインストール不要の高セキュリティ技術を使えるようになる点に将来性を感じました。

○株式会社スリック

- ・ハイブリッド・オルゴールの開発に興味を持ちました。
- ・「どこにもないモノ」、「どこも真似できないモノ」そして「尖ったモノ」を作るという目標を持っていて、さらにこの言い回しが面白いと感じました。
- ・「G-MEN」は、とても有用な発明であると感じました。

○株式会社鈴木楽器製作所

- ・練習用の楽譜が多く出版されており、効果的な学習ができるようになっています。
- ・会社情報において SDGs への支援について記載されています。これからの時代は企業が SDGs を支援しているかどうかで評価が変わりそうです。

○株式会社第一興商

- ・飲食店舗の事業や土地に関するビジネス、エルダービジネスといった事業を幅広く展開していたことに驚きました。
- ・エルダービジネスに興味を持ちました。超高齢化社会が進んでいる日本では、とても適しているビジネスだと思いました。

○大日本印刷株式会社出版イノベーション事業部

- ・DNP は人気の就職先ですが、出版イノベーション事業部の活動には驚きました。
- ・MuseCloud は転調なども変更できるため、持ち運びの便利さだけでなく、転調後の音源の確認もできるという点に興味を持ちました。

○パイオニア株式会社

- ・音や光を用いた信号処理を中心とした技術を用いて研究開発を行い、音響機器や医療・健康機器の製品の開発を行っていることに興味を持ちました。
- ・自動運転や医療に役立つセンサーなどの新技術を開発している点に興味があります。
- ・SoT という身の回りに「音」を吹き込むことで社会を変えることを掲げており、店舗のショーケースがしゃべることで、ポスターや看板で振り向かなかった人に魅力的な情報を伝えるといった活動をしている点に興味を持ちました。

○株式会社ぶらあぼホールディングス

- ・イベントやアーティストの紹介動画コンテンツへのアクセス性を向上させる重要な役割であることに興味を持ちました。

○ヤマハ株式会社

- ・車載オーディオやゴルフ用品、リゾート施設も経営していることに将来性を大きく感じました。
- ・興味を持った事柄は、SYNCRROOM というリモート合奏サービスです。
- ・「ヤマハ地球環境方針」制定以降の積極的な CSR 活動に興味や関心を持ちました。
- ・ヤマハ製品やサービスが展示されたイノベーションロードに興味を持ちました。
- ・「技術×感性で新たな価値を創造する」という言葉に興味を持ちました。
- ・温室効果ガス排出削減や持続可能な木材資源利用に向けた取り組みを行っています。

○株式会社ヤマハミュージックエンタテインメントホールディングス

・「プリント楽譜でサブスクリプション開始」という情報に興味を持ちました。

○ローランド株式会社

- ・趣味で音楽制作をしているので、自分の表現の幅が広がりそうな製品があります。スマートフォンにも製品が対応している点に魅力を感じています。
- ・魅力的だったのが電子和太鼓です。心臓に響く深く強い音色が特徴の和太鼓を電子にするというのが面白いと思いました。桶胴太鼓、長胴太鼓、締太鼓など様々な種類の太鼓を一台で演奏でき、和太鼓以外の打楽器や効果音などの演奏も楽しめるという点に興味をそそられました。

3. 今後のビジネスアイデアレポート

上述のように、本講義はオンデマンド形式のため、レポートの提出によって成績評価・単位認定を行いました。複数の候補から学生自身がテーマを選択できる形にしていますので、このような課題も設定してみました。

成績評価レポート課題 C

アフターコロナ/ウイズコロナの時代に、音楽産業・デジタルコンテンツ産業・カラオケ産業は**どういった企画や方策やビジネスに力を入れると、以前のような活気を取り戻すことができるか。**新型コロナウイルスの特性と音楽産業・デジタルコンテンツ産業・カラオケ産業の特性を踏まえて、**画期的なビジネスモデルや従来にはない新しいシステムを考えなさい。**

このテーマは、様々な事情でオンデマンド講義を受講できなかった場合の救済措置を兼ねた課題であり、AMEIにとって有益なものであれば評価するという条件で出題をしています。いくつかレポートの提出がありましたので、ご紹介させていただきます。

○カラオケの全国同時採点

今のカラオケ採点は、結果反映が1カ月単位など長いスパンになっていて、期間の終盤になると100点の人が上位にたくさん並ぶので、モチベーションが落ちます。例えば新曲の発売当日に限定で全国同時採点をすると、短い練習期間で本当に人を決めるような企画があれば、カラオケに行く回数が増えると思います。

○カラオケボックスでの昼寝・休憩

カラオケボックスをワーキングスペースにするなどの取り組みがありますが、一歩進んで、寝転がってくつろげるスペースを作れないだろうか。

○共用ではないマイク

時節柄、マイクの共用はハードルが高いので、天井や壁に全指向性マイクを設置し、ディープラーニングによって開発が進んでいる「音源分離」「音源協調」技術で、歌唱している人を特定することにより、手持ちマイク以外で音声入力をする。

4. 今後の大学講義について

連携講座では毎年様々な学生の意見を AMEI 会員にお伝えすることができますので、2022 年度も引き続きアンケートを実施したいと思います。また、レポート課題は、前例のない「斜め上」なアイデアが出てくることによって、AMEI 会員の事業の参考にして頂きたいと思いますので、こちらも継続して出題していきたいと思っています。

お見舞い
 一日も早い新型コロナウイルス感染症の終息と、皆さまのご健康を
 心よりお祈り申し上げます。

会員名簿

50音順 2022年6月22日現在

<p>あ</p> <ul style="list-style-type: none"> AlphaTheta 株式会社 Apple Japan 合同会社 アナログ・デバイス株式会社 	<p>し</p> <ul style="list-style-type: none"> 株式会社シーミュージック 学校法人尚美学園 株式会社シンクパワー 	<p>ふ</p> <ul style="list-style-type: none"> 株式会社フェイス 株式会社ぶらあぼホールディングス
<p>い</p> <ul style="list-style-type: none"> 株式会社インターネット 	<p>す</p> <ul style="list-style-type: none"> 株式会社ズーム 株式会社鈴木楽器製作所 株式会社スリック 	<p>や</p> <ul style="list-style-type: none"> ヤマハ株式会社 株式会社ヤマハミュージックエンタテインメント ホールディングス
<p>え</p> <ul style="list-style-type: none"> 株式会社エクシング 	<p>た</p> <ul style="list-style-type: none"> 株式会社第一興商 大日本印刷株式会社 出版イノベーション事業部 	<p>ろ</p> <ul style="list-style-type: none"> ローランド株式会社 <p>〈正会員会社 26 社〉</p>
<p>か</p> <ul style="list-style-type: none"> カシオ計算機株式会社 株式会社河合楽器製作所 	<p>て</p> <ul style="list-style-type: none"> ティアック株式会社 	<p>* 賛助会員</p> <ul style="list-style-type: none"> 中音公司 (中華人民共和国) 株式会社博秀工藝 株式会社ミュージックトレード社 株式会社リットーミュージック <p>〈賛助会員会社 4 社〉</p>
<p>く</p> <ul style="list-style-type: none"> クリプトン・フューチャー・メディア株式会社 クリムゾンテクノロジー株式会社 	<p>な</p> <ul style="list-style-type: none"> 株式会社 nana music 	
<p>こ</p> <ul style="list-style-type: none"> 株式会社コルグ 	<p>は</p> <ul style="list-style-type: none"> パイオニア株式会社 	



令和4年度 「MIDI検定」

—ミュージッククリエイターのためのライセンス制度—

MIDI検定試験	4級試験	随時
	1級試験	2022-8/5~8/15
	3級/2級1次試験	2022-12/4
	2級2次試験	2023-2/18~2/20

指導者認定講座	4級指導者認定講座	2022-5/29
	3級指導者認定講座	2022-7/24
	2級指導者認定講座	2022-9/25

System Exclusive ID会員募集中



AMEI NEWS Vol.77 / 2022.6.28
 一般社団法人音楽電子事業協会 機関誌
 発行：一般社団法人音楽電子事業協会 事務局
 〒101-0061
 東京都千代田区神田三崎町 2-16-9 イトービル 4F
 TEL.03-5226-8550 FAX.03-5226-8549

発行人：水野 滋
 編集人：石黒士郎 (広報委員会)
 編集協力：株式会社 博秀工藝
 ホームページアドレス：
<http://www.amei.or.jp/>

